

若い世代へ、『食』と『農』の大切さを届けよう！ ～岐阜県の特産品『えだまめ』とともに～



- 現代生活の中では、食材がどのように生産され、その後どのように消費者へと届けられるのかを知る機会が少ない。特に若い世代では、農業に関わることのない人が増えている。
- 若い世代がものづくりの大変さと重要性について理解を深め、食の大切さを改めて考える機会とするため、岐阜市立女子短期大学学生団体「ピーチクラブ」と連携し、農業体験を実施している。

【取組の内容】

- 農業体験の題材は、身近な農産物について知ってもらう機会とするため、岐阜市立女子短期大学が立地する島地区で生産される農産物の一つである「えだまめ」とした。
- 農業体験は、全岐阜県生活協同組合連合会、大学生協、農協生産者、県の関係者が連携し、大学生を対象に実施した。

4月21日 事前レクチャー	5月8日 定植
6月17日 収穫、選別作業	7月16日 収穫祭
10月6日 事業成果報告会	参加者数 延べ45名



えだまめ定植体験



えだまめ収穫体験

【取組の成果】

- 「ピーチクラブ」の活動は、農業体験に参加した学生により、大学学園祭(10/28、29)で発表された。



学園祭での枝豆レポート

- 参加者には栄養士等を目指している者もあり、農業体験では、早朝からの実施や作業の大変さ、高品質の枝豆を作るための工夫を知り、食を大切にす意識が深まった。



事業成果報告会

〈大学生の感想〉

- 定植作業を体験して、安心・安全な野菜を作るために、品種や苗の品質、植え付け日、植え付け場所等の、多くのことに気を配っていることが分かった。食材を無駄にはいけない、作ってくださる方への感謝の気持ちを忘れてはいけないと改めて思った。
- エダマメの出荷までには何度も選別作業が行われており、生産者の苦勞とおいしさの理由がわかった。より多くの人にこの「岐阜えだまめ」を知ってほしいと思った。